石巻専修大学

●「石巻専修大学」ホームページ● http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号 0225(22)7711

広報専用FAX 0225(22)7809

2010 年頭の抱負

石巻専修大学　学長

坂田　隆

地域発展支える役割担う

皆様新年おめでとうございます。昨年は「社会知性の開発」を実現し地域の持続的な発展を支える大学として、地域課題の解決を目指した研究などを推進する「共創研究センター」を発足させました。また地元金融機関と連携した産学金コーディネーター育成研修を主催し、地元メーカーを結集して自動車関連部品の納入を目指す「夢工房いしのまき」を設立しました。さらに、宮城県内の3高校から一学年全員を大学に招いて「1日大学生」を経験してもらう企画を始めとして、地域の教育機関にもさまざまな貢献をすることができました。

一方、オール専修の結束を強化するために、2009年4月入学者からの付属高等学校奨学生制度を開始するとともに、10年度入試からは子弟・子女推薦制度を導入しました。また、昨年7月には専修大学北上高等学校の1・2年生全員を石巻専修大学に招いて、大学の見学などをしてもらいました。さらに12月には同高との連携協定を締結して本学の講義を同高で開講し、履修者が本学に入学した場合には単位認定される制度などを10年度から始めることになりました。これに加えて、同高など岩手県南部からの進学者を支援するために、通学支援バスを現行の一ノ関便に加えて、北上駅から本学までの直通で10年4月から運行することになりました。

国際交流の面では、08年度から始まった中国・温州大学との学生レベルでの交流が進み、10年度からは1年間の交換留学生プログラムも始まります。

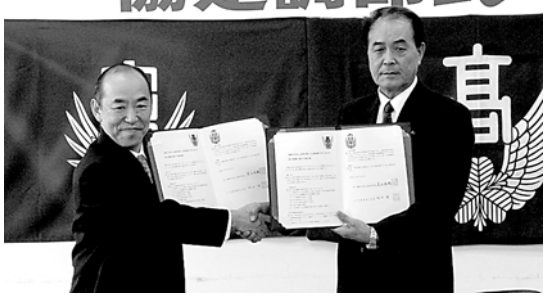
学生の活動としては硬式野球部が昨年6月に神宮球場で行われた全日本大学野球選手権大会に出場したことが印象に残ります。このときには、オール専修の校友の皆様を始め、専修大学応援団の皆さんやチアリーダーの皆さんの心強い応援をいただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

本学では21世紀の社会の要請に応えるべく、大学のありかたを考える具体的な検討が進んでいます。これからも本学にご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

高大連携、国際交流も活発

石巻専修大学との高大連携

協定調印式



専大北上高と協定

2010年度から本学の単位認定授業などを実施

本学と専修大学北上高等学校（高木敬蔵校長、生徒数852人）は昨年12月4日、高大連携に関する協定を結んだ。2010年度から専大北上高3年生に、本学の単位認定となる授業などを実施する。調印式は岩手県北上市の専大北上高で行われ、両校の関係者19人が出席。坂田学長と高木校長が協定書に署名、調印した。

10年度から実施する連携事業は①3年生を対象とした単位認定型授業②1年生を対象とした大学特別見学会・特別授業③自動車科2年生を対象とした整備実習特別指導④北上市―大学間の通学支援バスの運行。

単位認定型授業は、本学の授業「総合科目Ⅰ」（前期・2単位）の全15回のうち、専大北上高で10回程度を、残りを本学で実施し、双方が単位認定する。受講した生徒が本学に進学した場合は正規の単位として認定される。

今回で本学の協定締結は4校目、単位認定型授業を実施するのは3校目となる。

高大連携、国際交流進む

▶温州大学との調印式の様子

交換留学生の派遣実現

温州大と協定書附属書調印

中国・温州大学から陳福生・校務委員会主任ら5人が12月13日から16日まで来日し、本学や専修大学を訪問した。

今回の来日で温州大は本学との学術・教育交流に関する協定書附属書に調印。これまでも同大学とは国際交流協定を結んでいたが、今回の調印によって交換留学生（1年間）を双方の大学に派遣できるようになった。今年8月には温州大から5人の留学生が来日する予定。

恒例のXマスミニコンサート開催

学生会、現代芸術研究会、軽音楽愛好会、女子学生キャリアアップ愛好会の4団体が、12月21、22の両日、学生ホールでクリスマスイベントとして、ミニコンサートを開いた＝写真。

21日は軽音楽愛好会のライブと経営学部の伊藤健宏准教授のピアノ演奏が、22日は現代芸術研究会のライブと理工学部の川村暁講師のトランペット演奏がそれぞれ行われた。両日とも女子学生キャリアアップ愛好会によるクリスマスクッキーのプレゼントも行われ、学内のクリスマスムードは一気に高まった。

通学支援バスを拡充

本学は学生の自宅通学を支援するためにバスの運行を行っているが、2010年度はさらに拡充・強化に努める。10年4月から新たに、専大北上高および同地区にある高校からの自宅通学を支援するため、JR北上駅前から本学までバス運行を行う。また、JR古川駅前と一ノ関駅前行きの大学発午後3時10分の便を設ける。これにより3時限終了で帰宅する学生が利用しやすくなる。

人命救助で感謝状

理工学部4年 崎村知生さん

海に転落した男性を救助したとして、理工学部4年の崎村知生さんが12月17日、石巻警察署から感謝状を贈呈された。

崎村さんは昨年11月29日午後10時40分ごろ、女川町のコンビニエンスストアでアルバイト終了後、男性(59)が女川港岸壁から転落しそうになっているのに気付いた。警察に通報し、現場に駆け付けたところ、男性はおぼれていて、通りがかりの男性とともにロープで救助した。

石巻署の佐藤進署長は「危険を顧みず、命を助けていただいて感謝する」と述べた。

企業経営セミナーに50人

ISプロジェクト

石巻信用金庫と共同開催

「小売業の現状と製造業の課題」

本学と石巻信用金庫が共同で実施する「ISプロジェクト」の一環として、大学開放センターの主催で、12月12日、本学で「石巻専修大学企業経営セミナー」が開かれた。テーマは「小売業の現状と製造業の課題」。約50人が参加した。

セミナーでは、大手小売業のプライベート・ブランド商品が売り上げを伸ばす一方で、製造業のナショナル・ブランドは厳しい局面に立たされていることを踏まえ、石巻地域の製造業の今後を考えた。

イオンの八田将行MD開拓プロジェクトチーム・マネジャーが「総合スーパーとの取引関係」と題して講演したほか、平塚隆一郎・山徳平塚水産代表取締役社長と櫻井武寛・一ノ蔵代表取締役会長がそれぞれ自社の事例を紹介。また、石原慎士非常勤講師（八戸大学ビジネス学部准教授）が司会・コーディネーターとなって、「今、消費者が望むものは何か」と題する座談会も開かれた。

カーエレクトロニクス業界研究セミナー年度最終講座

みやぎカーインテリジェント人材育成センター研修講座の2009年度最終講座として、「カーエレクトロニクス業界研究セミナー」が12月12日、東北電子専門学校（仙台市）で開かれた。自動車関連企業9社との交流が図られたセミナーでは、宮城県内の大学・専門学校8校から、自動車関連企業への就職を検討している学生が参加し、企業の説明に聴き入っていた。この研修講座は昨年8月から開催。自動車業界、大学・高専の各分野の専門家が講師を務めてきた。

修了証書授与式では、セミナー参加者を代表して、村井嘉浩宮城県知事から本学の菅原達也さん（理工3）に修了証書が授与された＝写真。

B・C日程を新設

子弟・子女の推薦入試

本学は2010年度公募制推薦入試の子弟・子女推薦でB日程、C日程を新設し、全学科で募集する。本試験は、本学の「建学の精神」に理解を示す同窓生の子女を対象に学校法人専修大学の学風を継承・発展させる趣旨で導入。

対象となるのは、全国の高校もしくは中等教育学校に在学し、今年3月卒業見込みか既卒者で、学校法人専修大学が設置する各大学の卒業生、在学生、常勤教職員（退職者含む）、付属高校などの常勤教職員（同）の子弟・子女、兄弟・姉妹。加えて、評定平均値が3・0以上の者。両日程の①出願期間②試験日③合格発表日は次の通り。

【B日程】①2／8～17②2／25③3／5

【C日程】①3／8～17②3／23③3／24